

# 【将来都市像について】

# 1. 将来都市像の検討

## 次期計画にて意識すべき課題

- (1) 少子・高齢化の影響
- (2) 地域を支える力の低下
- (3) 県北西部の中心都市としての魅力・吸引力の低下
- (4) 市内での地域特性の違い



目指す将来像



## 市民ワールドカフェで多かった意見

- ①こどもの遊び場の確保等, 子育て環境の整備
- ②元気な高齢者の活躍の場所づくり
- ③柏の資源を生かすまちづくり など



## 総合計画審議会 まちづくりの方向性の考え方

- ①子育て世帯が住みたくなる施策の充実(子育て支援、教育の充実)
- ②健康な高齢者を増やす、支える取組の推進(健康寿命の延伸)
- ③まちの活性化(商業機能の活性化、都市農業の発展、企業誘致等)
- ④コミュニティ機能の再生・活性化
- ⑤文化・スポーツ等を活かした誇りを持てるまちづくりの推進
- ⑥社会環境の変化に応じた都市基盤の整備
- ⑦未来につなぐ環境の保全
- ⑧人の生命を守る安全なまちづくりの推進
- ⑨より効率的・効果的な行政運営

## 2. 目指す将来像（柏市の理想の姿）の考え方

- 子どもがたくさんいて、高齢者が元気に暮らしている
- 市内外の多くの人がこの地域に目を向けて、様々な活動に参加している人がいて、地域が盛り上がっている
- 柏のまちからは、「とても元気」という印象を受ける
- 各地域の住んでいる人や、地域資源の特性や魅力が活かされたまちになっている

### 3. (参考)市民ワールドカフェや審議会から 頂いているキーワード

	課題①少子化	課題①高齢化	課題②③④
市民ワールドカフェ	安全, 支援, 地域ぐるみ, コミュニケーション強化, 体験学習, 多世代交流, 職場体験, 国際交流, 体力向上, 安心できる子育て環境, 見守り	多世代交流, 健康の推進, 外出の機会, 予防(健康診断の受信率), バリアフリー, ユニバーサルデザイン, 安心, 学びの機会, 相談窓口, 高齢者サロン	市内循環型社会, PR, 観光地, 情報発信, 企業誘致, 学校誘致, 商店街, 集客力向上, 地産地消, 職住近接, 再生ビジネス, 官民協働, 魅力発信, 手賀沼活用, 柏駅周辺再開発, 市民農園, 柏に住むインセンティブ, 地域資源, 知の集積, 人材育成, 町会活動参加促進, ボランティア活動, JRとTXのアクセス改善, 大学活用, レイソル, 都会と田舎の混在, 景観, 防犯, 防災
総合計画審議会	学力, 体力, 担い手育成, 働く女性の子育て支援, 子供の健康増進, 教育充実, 子育て環境づくり, 日常的な自然体験	医療, 介護, モビリティ, バリアフリー, ユニバーサルデザイン, 健康寿命延伸, 健康意識醸成, 担い手育成, 健康長寿社会実現, 健康未来都市, 弱者支援, 元気でいきいきした高齢者	都市農業, 柏ブランド、シビックプライド、食育, 市民で支える農業, 農業活性化, 企業誘致, 就労支援, 柏型新領域創出, 人的資源活用, 地縁にとられないコミュニティ創出, 多世代交流, 市民自立, 交流, 安心, 地域力, 商業中核都市, 地域振興, 定住促進, 来客増加, 産業振興, 新産業創出・育成, 多様な主体との連携(協働), 人材育成, 地域愛, 田園都市, 食糧農産品供給都市, 地産池消, 地域商店街の活性化, 沼南町めぐり観光, 市税収入確保, 地域コミュニティ活性化, 地域のつながり, (人口増見込める)最後の10年, プロモーション, コラボレーション, イノベーション, 災害対応, 南部の魅力向上, 合併後初の総合計画, 民活, ICT, 図書館, 魅力向上, ブランド化, コンパクトシティ, 公共施設の集約化, データサイエンティスト, 市民サービスの効率化, 官民協働, イメージ戦略, 住環境品質の向上, 「共助、近所、自助」, 安全・安心, 交通の利便性, 行政の基盤, 行政の横断的な連携体制, 都市と自然環境の共存, 身近な自然の保全, 都市型ライフスタイル

# 4. (参考) 他市事例や過去の将来都市像等

型	他市の将来都市像の例 (都市イメージ)	本市過去の 将来都市像	導出方法(案)	特徴
一 文 型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑とふれあいのあるふるさと 鎌ヶ谷</li> <li>・緑きらめき人が輝く絆つなぐまち もりや</li> <li>・生き生きとしたふれあいの都市・ふなばし</li> <li>・ひと、まち、未来、みんなでつくる いきいき川越</li> <li>・生きがいと魅力ある 住みよい都市 姫路</li> <li>・ひと咲き まち咲き あまがさき</li> <li>・ふれあい 感動 文教住宅都市・西宮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなでつくる 安心、希望、支え合いのまち 柏 (第四次)</li> <li>・ひと、まち、みどりが光るふれあいの都市・柏(第三次)</li> <li>・人間性豊かな生活文化都市(第二次)</li> </ul>	I 課題に対し市民ワールドカフェの意見や審議会の視点を基に II 課題克服の方向性と理想の姿を考える III これらから紡いだ将来都市像イメージ作成(その後) IV キャッチコピーに仕上げていく。 ⇒概ね2~4のキーワードで表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンプルで分かりやすく、覚えやすい</li> <li>・様々な事象を包括しやすい。</li> <li>・やや抽象的なため、課題とのギャップを埋める目標が見えにくい。</li> <li>・他市との違いがよく見えにくい</li> </ul>
二 文 型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然や歴史・文化を活かし、市民が真の豊かさを実感できるまち「みんなでつくろう価値ある流山」</li> <li>・地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市おおた(大田区)</li> <li>・歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち「文の京(ふみのみやこ)」(文京区)</li> <li>・海と太陽とみどりの中でひとが輝きまちが輝く 湘南・茅ヶ崎</li> <li>・水と緑と人が共生し 地域の絆で築く市民主役の元気都市 青森</li> </ul>	人間性豊かな都市づくりを理想とし二つの都市像を掲げる。 ①みどりと創造性豊かな文化都市 ②魅力と風格に満ちた中核的産業都市(第一次)	I ~ IIIは上記と同じ(その後) IV 二文程度にまとめていく。 ⇒概ね5から6のキーワードで表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より具体的なため、課題とのギャップを埋める目標が見えやすい。</li> <li>・市内外にまちづくりに対する意図をよりPRしやすく、市民の意見等をより反映可能</li> <li>・長いため、やや覚えにくい</li> <li>・単語が多くなる分、うまくまとめないと、まちづくりの意図が見えにくくなる。</li> </ul>